



北山高等学校「いじめ防止基本方針」

「いじめのない居心地の良い学校」

イジメZERO! を目指して

Q. 北山高校では「いじめ」をどのように捉えていますか？

A. 生徒が受けた暴力(物理的いじめ)や心ない言葉(心理的いじめ)に対して **心身の苦痛を感じているもの** をいじめと捉えます。ただし、苦痛を感じているという生徒がいても、加害生徒が特定できない場合や、加害の意識が全くない場合があることから、いじめの認知については慎重にすすめ、被害生徒は徹底的に守り抜きケアするとともに、加害生徒に対しても毅然とした指導と心のケアを心がけます。

Q. 北山高校では「いじめ」防止のためにどのように取り組みますか？

A. 「**未然防止**(いじめを生まない雰囲気作り)」「**早期発見**(いじめの小さな芽を見逃さない)」「**迅速対応**(被害者を徹底的に守り抜く・加害者に毅然とした適切な指導を施し、再発を防ぐ)」の三本柱でいじめに対応します。



●「いじめ」に大きいも小さいもありません。他人から見れば小さなことも、いじめられた本人にとってはとてつもなく大きな苦痛であるかも知れないのです。北山高校では、教師全員で生徒の変化に気づき、適切に対応できるよう日々研鑽して参ります。保護者の皆さまも、ご家庭でお子様の変化等に気づき、「ちょっとおかしいな」と感じられましたら、ぜひ学校へもご相談ください。

※「北山高等学校いじめ防止基本方針」は学校ホームページでご覧いただけます。

家庭用「いじめ早期発見チェックリスト」

日頃のお子さんの様子を見て、当てはまる項目に○印を付けて下さい。「○印の数が多くて気になる」「いつまでも好ましくない状態が続いて心配である」など有りましたら、担任又は教育相談係に相談して下さい。

番号	項目	チェック
1	登校をしぶるようになった。	
2	朝、起きるのが遅くなった。	
3	食欲がないといって、食事の量が減った。	
4	携帯電話を家族のいる前で使わなくなった。	
5	メール等を見たあと、不機嫌になるようになった。	
6	学校での出来事を話さなくなった。	
7	友人が変わった。	
8	友人と遊ぶことが少なくなった。	
9	お金を欲しがるようになった。	
10	物をなくしたり、壊したりすることが増えた。	
11	びくびくするようになった。	
12	自分の部屋にいる時間が増えた。	
13	小さな傷が増えた。	
14	質問されることをいやがるようになった。	
15	親が知らない人からの電話が増えたように感じる。	
16	携帯電話等の料金が高額になった。	
17	帰宅時刻が遅くなってきた。	
18	言葉遣いが荒くなった。	
19	買い与えていない物を持つようになった。	
20	金遣いが荒くなった。	

■学校の電話番号 : 0980 (56) 2401

■学校のFAX番号 : 0980 (56) 3726

■学校メール : pta@hokuzan-h. open. ed. jp